大阪大学グローバル **COE** プログラム「コンフリクトの人文学国際研究教育拠点」
「コンフリクトの人文学」セミナー第 **38** 回
GLOCOL セミナー第 **46** 回

非伝統的安全保障問題としての感染症

人文･社会科学からのアプローチ:インフルエンザ対策を事例として

講師：鬼丸武士（政策研究大学院大学助教授）

航空機などの輸送技術の進歩と、グローバル化の進展により国境を越えて移動するヒトの数が飛躍的に増加している現代において、どこかの国や地域で発生した感染症がごく短時間のうちにパンデミックと呼ばれる世界規模の感染を引き起こす可能性は非常に高くなっている。この 4 月に WHO によって新型であることが確認された H1N1 型インフルエンザ･ウイルスも、短期間のうちに世界規模での感染を引き起こしている。

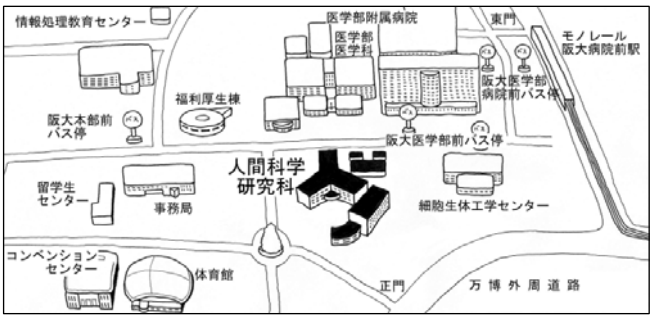
このような世界規模での感染を引き起こす危険性のある感染症に対して、医学･疫学的対応だけではなく、社会的対応策をとることがとりわけ途上国では重要となる。本報告では東南アジア地域でのインフルエンザ対策を事例として、人文･社会科学が感染症対策にいかなる貢献をなすことができるのかについて考えてみたい。

講師紹介：

2005 年京都大学大学院アジア･アフリカ地域研究科東南アジア地域研究専攻修了、同年京都大学博士号（地域研究）取得。京都大学東南アジア研究所講師、政策研究大学院大学研究助手などを経て、2008 年 10 月より現職。専門はアジア国際関係史、政治史。主要論文として、「戦間期英領マラヤにおける政治情報機関の成立とその活動」（『歴史学研究』859 号、2009 年 11 月、36-46 頁）、「「ヌーラン事件」－戦間期アジアにおける国際共産主義運動とイギリス帝国治安維持システム－」（『国際政治』第 146 号、2006 年、70-87 頁）、「新型インフルエンザ対策－何をなすべきか」（『外交フォーラム』2008 年 10 月号、54-56 頁）など。

日時：２００９年１２月１７日（木）　１７:００～１９:００
会場：大阪大学大学院人間科学研究科（吹田キャンパス）　東館１０６教室（参加無料）

会場への交通アクセスは下記をご覧下さい。
人間科学研究科東館は万博外周道路側の別館です。

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html

お問い合わせ先：
大阪大学大学院人間科学研究科内
人類学教室
tel: 06-6879-8085　06-6877-5111
e-mail: globalra@hus.osaka-u.ac.jp